

## 講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ [www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html](http://www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html) をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHP などをご確認下さい。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、本誌に掲載された討論会に関する情報は、下記本会ホームページからもご覧になることができます。  
[www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html](http://www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html)

### 第19回機器分析講習会 「化学工学系の研究開発を 支援する最新の分析、解析技術」

主催 化学工学会東海支部

協賛 日本化学会

会期 6月1日(月)9時~9日(火)16時

開催方式 オンライン

参加申込締切 6月1日(月)ただし定員(各コース80名)になり次第

本講習会は、現場ですぐ使える分析ノウハウを、メーカー技術者から直接学べる4コースを開催します。

1. 比表面積・細孔分布評価コース 講師：マイクロトラック・ベル
  2. 高速液体クロマトグラフ(HPLC)コース 講師：島津製作所
  3. X線回折(XRD)コース 講師：リガク
  4. 走査電子顕微鏡(SEM)コース 講師：日本電子
- ※詳細は、公益社団法人化学工学会東海支部HPをご確認下さい。

**参加費** 化学工学会正(個人)・法人会員会社社員3,000円、日本化学会会員3,000円、非会員/一般6,000円、学生(会員・非会員)無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内 公益社団法人化学工学会東海支部 電話(080)4525-3070 <https://scej-tokai.org/6244/>

### 第35回金属の関与する生体関連 反応シンポジウム(SRM2026)

主催 日本薬学会物理系薬学支部

後援 日本化学会

会期 6月6日(土)、7日(日)

開催方式 対面式

会場 神戸女子大学ポートアイランドキャンパス(神戸市中央区港島中町4-7-2) [交通] ポートライナー「みなとじま」駅徒歩5分

参加申込締切 当日申込可

本シンポジウムでは、生体内で重要な機能を果たしている金属元素の生理活性、動態、イメージング、および金属タンパク質の構造と機能発現の機構解明、金属酵素モデルや阻害剤開発などを行っている全国の研究者が一堂に集まります。今年度のテーマは「金属が静謐に放つ静かな煌めき」とし、華やかに注目するだけでなく、生命を支える金属の本質的な役割に目を向けます。薬学分野にとどまらず、理学・工学・医学など幅広い分野の研究者が参加し、分野横断的な討論を行います。

**参加費** 日本薬学会会員7,000円、日本化学会会員7,000円、非会員9,000円、学生4,000円(当日参加費)

**懇親会** 6月6日(土)18時~、神戸女子大学食堂「The Social Table」にて。会費7,000円(学生4,000円)

**参加申込方法** E-mail

**申込先・問合せ先** 650-0046 神戸市中央区港島中町4-7-2 第35回金属の関与する生体関連反応シンポジウム(SRM2026)事務局

E-mail: [srm2026@yg.kobe-wu.ac.jp](mailto:srm2026@yg.kobe-wu.ac.jp) <https://srm2026.symposium-hp.jp/index.html>

### 色材セミナー 色と材料を“見える化”するAI ~データ駆動イノベーション~

主催 色材協会

協賛 日本化学会

会期 6月10日(水)

開催方式 オンライン

参加申込締切 定員(60名)になり次第

「その色や質感の違いは、どの工程で生まれたのか」「材料の変化は、いつ兆しが出ていたのか」——私たちは本来、見えにくい現象を扱いながら、限られたデータと経験で判断してきました。いま、計測・実験・製造・現場のデータをAIでつなぐことで、研究開発や品質の意思決定をデータ駆動型へと更新する動きが加速しています。本セミナーでは、人とAIが協奏するデータ活用の考え方を起点に、材料設計・探索と実験の高度化、分光などの計測データに基づく状態推定・劣化予測、さらにユニバーサルデザインの視点を踏まえたカラーマネジメントの実装まで、色材分野を横断する最新の取り組みを紹介します。塗料・インキ・樹脂・ゴム等の研究開発/生産技術/品質管理のご担当者、印刷・デザイン・カラーマネジメントに携わる方、材料インフォマティクスやラボの自動化に関心をお持ちの方にとって、自社でのAI活用を具体的な一歩へつなげるヒントが得られるプログラムです。

**参加費** 会員(協賛学協会会員共)20,000円、会員外33,000円

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 一般社団法人色材協会事務局 [https://shikizai.org/shikizaiseminar\\_2026kansai/](https://shikizai.org/shikizaiseminar_2026kansai/)

### 2026年度第1回 化合物スクリーニング講習会

—スクリーニングを始めるにあたって—アツ  
セイ系構築からHit to Leadまで—

主催 東京大学大学院薬学系研究科附属創薬機構

後援 日本化学会

会期 6月16日(火)13時30分~

開催方式 オンライン

参加申込締切 6月10日(水)

ご自身の研究に役立つ新規活性化合物発見や創薬を目指して化合物スクリーニングを計画されている方々を対象にどのようなことに注意して検討や準備をすればよいかについて、日本最大規模の公的化合物ライブラリーを管理運営し、化合物サンプル提供やアクセス系構築等の支援経験豊富な弊機構の講師がわかりやすく紹介します。別途、希望者対象に弊機構施設の見学日を設定します。

(1)化合物スクリーニング概論

(2)アクセス系構築とHTS実施例(酵素系)(細胞系)

(3)化合物ライブラリーの紹介と利用方法

※詳しくは下記HPをご参照下さい。

参加費 無料

参加申込方法 E-mail

**申込先・問合せ先** 113-0033 文京区本郷7-3-1 国立大学法人東京大学薬学系研究科附属創薬機構 電話(03)5841-1960 FAX(03)5841-1959 E-mail: [ddiinfo3@mol.f.u-tokyo.ac.jp](mailto:ddiinfo3@mol.f.u-tokyo.ac.jp) [https://www.ddi.f.u-tokyo.ac.jp/screening\\_seminars/](https://www.ddi.f.u-tokyo.ac.jp/screening_seminars/)

### 日本化学会東北支部 第22回石炭化学コロキウム

主催 日本化学会

会期 6月19日(金)14時~17時30分

開催方式 対面式

会場 あきた芸術劇場ミルハス小ホールB(秋田市千秋明徳町2-52) [交通] JR「秋田」駅から徒歩10分

参加申込締切 6月8日(月)

講演会

1. 資源・エネルギー・環境とものづくり(名大院工) 成瀬一郎
2. 砂層型メタンハイドレートの開発状況と課題(日本メタンハイドレート調査) 脇嶋良平
3. 地上の太陽の実現に向けて ~核融合エネルギー研究のいま、これから(量子科学技術研究開発機構) 岩井保則

**参加費** 主催および共催団体の会員、学生無料

**懇親会** 会場、会費(調整中)

**参加申込方法** E-mail

**申込先・問合せ先** 010-8502 秋田市手形学園町1-1 秋田大学大学院理工学研究科 加藤貴宏 電話/FAX(018)889-2755 E-mail: [tkato@gjpc.akita-u.ac.jp](mailto:tkato@gjpc.akita-u.ac.jp)

### 《開設30周年記念》立命館大学 SRセンター研究成果報告会

主催 立命館大学SRセンター

後援 日本化学会

会期 6月20日(土)10時~

開催方式 オンライン・対面併催

会場 立命館大学びわこ・くさつキャンパス(草津市野路東1-1-1) [交通] JR「南草津」駅より路線バスがあります。

参加申込締切 6月19日(金)

※詳細は下記HPをご覧ください。

参加費 無料

**懇親会** 17時から、ローム記念館3F レセプションホールにて。会費無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 立命館大学SRセンター 朝倉清高 E-mail: [kytkaskr@fc.ritsumeit.ac.jp](mailto:kytkaskr@fc.ritsumeit.ac.jp) <https://www.ritsumeit.ac.jp/events/detail/?id=1893>

### 第33回光学活性化合物 シンポジウム

主催 光学活性化合物研究会

協賛 日本化学会

会期 6月29日(月)13時~17時

開催方式 対面式

会場 東京大学大学院薬学系研究科総合研究棟 2階講堂 (文京区本郷 7-3-1)

1. Yamada-Koga Prize 授賞式

2. Electric Field Enabled Confined Organic Synthesis (Wuhan Univ.) Qingquan Lu

3. Modulating Protein-Complex Lipid Interactions for Immune Regulation (Keio Univ.) Yukari Fujimoto

4. Chemical Biology of Plant Oxylinin Hormones: Synthetic Agonists, Metabolism, and Chemical Evolution (Tohoku Univ.) Minoru Ueda

5. [Yamada-Koga Prize 2026 受賞講演] Sugars & Proteins (The Univ. of Oxford) Benjamin G. Davis

参加費 無料

情報交換会 講演会終了後。会費：一般 5,000円、ポスドク・学生 1,000円

連絡先 113-0033 文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院薬学系研究科 有機合成化学教室 金井 求 電話 (03)5841-4830 E-mail: kanai@mol.f.u-tokyo.ac.jp

## 2026 筑波セミナー 認証標準物質を使いこなそう

—「正しい値」を出すための試料前処理から測定まで—

主催 プラズマ分光分析研究会

協賛 日本化学会

会期 7月2日(木)10時~3日(金)16時

開催方式 対面式

会場 つくば国際会議場中会議室 202 (つくば市竹園 2-20-3) [アクセス] <https://www.tsukuba-icc.com>

参加申込締切 6月23日(火)

第1日目

1. 環境試料：河川水・海水 (仮) (麻布大) 伊藤彰英

2. 環境試料：土壌・底質・廃棄物 (仮) (ユークロフィン日本総研) 藤森英治

3. 材料 (仮) (東電大) 水谷晶代

4. 質問コーナー

5. フラッシュプレゼンテーション

6. イブニング・セミナー (ポスターセッション) ※会場参加の方のみ

第2日目

1. 生体試料：Whole blood, Serum, Urine (仮) (国立環境研) 小林弥生

2. 標準物質の役割とその信頼性担保のための取り組み (産総研) 大畑昌輝

3. 質問コーナー

4. つくば地区研究所見学会 ※送迎あり、希望者のみ

※詳細は HP (<https://plasma-dg.jp/seminar/26tsukuba/program26.html>) をご確認ください

参加費 会員 28,000円、非会員 35,000円、学生会員 5,000円、学生非会員 8,000円。要旨集のみの購入 1冊 3,000円 ※協賛学会会員は会員参加費でご参加いただける場合がありますので、事務局までお問い合わせ下さい。※当研究会の年会費は 5,000円 (学生 1,000円) です。全講演会要旨集の無料送付等の特典がありますので、ぜひこの機会にご入会下さい。

参加申込方法 Web

申込先・問合先 194-0392 八王子市堀之内

1432-1 プラズマ分光分析研究会 事務局 電話 (042)816-3001 FAX (045)924-5689 E-mail: ozeki@plasma.es.titech.ac.jp <https://plasma260529.peatix.com>

## 第38回大学化学入試問題をめぐる大学-高等学校交流会

主催 日本化学会近畿支部

会期 7月3日(金)13時30分~17時

開催方式 対面式

会場 大阪科学技術センター 4階401号室 (大阪市西区靱本町 1-8-4) [交通] Osaka Metro 四つ橋線「本町」駅下車北へ徒歩3分 (四つ橋筋西側)

参加申込締切 6月22日(月)

2026年度「近畿地区」大学化学入試問題について

対象 大学教員・高校教員など

参加費 無料。会場収容人数の都合上、大学ならびに高校からの参加を優先して申込みを受け付けさせていただきます。また、一機関からの多数のご参加はご遠慮いただく場合があります。

参加申込方法 Web

申込先・問合先 日本化学会近畿支部 電話 (06)6441-5531 E-mail: csjevent@kinki.chemistry.or.jp <https://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/daigaku26.html>

## 2nd French-Japanese Symposium on Bioinorganic Chemistry

—第2回日仏合同生物無機化学シンポジウム—

主催 第2回日仏合同生物無機化学シンポジウム実行委員会

後援 日本化学会

会期 7月4日(土), 5日(日)

開催方式 対面式

会場 同志社大学今出川キャンパス (京都市上京区今出川通り烏丸東入) [交通] 地下鉄烏丸線「今出川」駅徒歩1分

参加申込締切 6月5日(金)

第2回日仏合同生物無機化学シンポジウム (2nd French-Japanese Symposium on Bioinorganic Chemistry) を開催いたします。本シンポジウムでは、日本およびフランスを中心とした生物無機化学分野に関連する研究者が一堂に会し、最新の研究成果の発表と活発な議論を通じて、両国間の学術交流のさらなる発展を図ることを目的としております。詳細は下記 HP をご覧ください。

参加費 主催団体・後援学会員 12,000円、学生 3,000円

懇親会 7月4日(土)、デュシタニ京都にて。会費 10,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 第2回日仏合同生物無機化学シンポジウム実行委員会 大洞 E-mail: oohora@chem.eng.osaka-u.ac.jp <https://fjbsc2026.symposium-hp.jp>

## 第59回天然物化学談話会

主催 第59回天然物化学談話会 実行委員会

協賛 日本化学会

会期 7月8日(水)13時~10日(金)13時

開催方式 対面式

会場 フェニックス・シーガイア・リゾート (宮崎市山崎町浜山 415) [交通] JR「宮崎」駅から車で約15分、宮崎空港から車で約30分、空港より送迎バスをご用意します。詳細は下記 HP をご覧ください。

参加申込締切 5月30日(土) (締切後は下記連絡先にお問い合わせ下さい)

招待講演 横島 聡 (名大院創薬), 脇本敏幸 (北大院薬学), 大上雅史 (東京科学大情報理工), 照屋俊明 (琉球大教育), 細谷孝充 (東京科学大総合研), 松森信明 (九学院理), 高橋大介 (慶大理工), 大石 徹 (九大院理), 藤間達哉 (PRISM BioLab), 山崎直人 (名大院創薬), 佐藤英祐 (岡山大学術研究院環境生命科学領域)

奨励賞受賞講演 小田木陽 (早大先進理工), 吉村 彩 (北大院薬学)

参加費 日本化学会会員・非会員ともに一般・企業 45,000円、学生 30,000円 (参加人数によって変更の可能性があります)

懇親会 フェニックス・シーガイア・リゾート・コンベンションセンターにて。

参加申込方法 郵送等

申込先・問合先 812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1 九州大学大学院薬学研究院 第59回天然物化学談話会 実行委員会 寄立麻琴 電話 (092)642-6605 E-mail: danwa59@phar.kyushu-u.ac.jp <https://sites.google.com/view/59np-danwa/>

## レアメタル研究会 (121回)

—非鉄金属の現状—

主催 レアメタル研究会

協賛 日本化学会

会期 7月10日(金)14時~

開催方式 オンライン・対面併催

会場 リアル講演会+講演のネット配信 (Zoom Webinar & YouTube) のハイブリッド研究会 (目黒区駒場 4-6-1 東京大学生産技術研究所 An 棟 3階 コンベンションホール) [交通] 京王井の頭線「駒場東大前」駅、小田急線「東北沢」駅・「代々木上原」駅より徒歩10分

参加申込締切 7月3日(金)

講演 (敬称略)

※プログラムの順番等は変更する可能性があります。

1. 非鉄金属リサイクルの現状 (仮) (住友金属鉱山金属事業本部) 竹林 優

2. レアメタルの最近の話題 (仮) (東大生産技術研) 岡部 徹

3. 希土類金属の高温素材プロセス研究の動向と展望 (東北大院工) 竹田 修

参加費 大学・省庁・メディアの関係者は無料、企業関係者は初回のみ無料

研究交流会・意見交換会 18時~(予定), An 棟 2F ホワイエにて、竹田教授、教授就任お祝いの会。

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 153-8505 目黒区駒場 4-6-

1 Fw-301 岡部徹研究室 宮崎 電話(03) 5452-6314 FAX(03)5452-6313 E-mail: okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp

## 第 42 回物性物理化学化学研究会

**主催** 物性物理化学化学研究会

**協賛** 日本化学会

**会期** 7月10日(金)

**開催方式** 対面式

**会場** 大阪医科薬科大学薬学部阿武山キャンパス(高槻市奈佐原4-20-1) [交通] JR「富田」駅よりバス

**参加申込締切** 定員(200名)になり次第招待講演

1. 細胞外小胞エンジニアリングと DDS 応用 (京大院医) 秋吉一成
2. 細胞外小胞の DDS 応用に向けた製剤学的アプローチ (和歌山県医薬) 福田達也
3. 細胞外小胞の動態・機能解析に基づく治療基盤戦略の確立 (京大院薬) 高橋有己
4. 組織特異的な細胞外小胞マーカーが示唆すること (東大院農) 山内祥生
5. ペプチド化学を用いた細胞分泌小胞の機能 (阪大院理) 中瀬生彦
6. 新規モダリティ医薬品候補としての細胞外小胞 (EV) 製剤の品質管理戦略について (国立衛研) 石井明子

※詳細は HP をご覧ください。

**参加費** 主催・共催・協賛団体会員 5,000 円, その他一般 6,000 円, 学生 2,000 円

**懇親会** 学会閉会後に会場にて情報交換会を開催。会費 8,000 円

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ** 569-1094 高槻市奈佐原4-20-1 大阪医科薬科大学薬学部 物性物理化学化学研究会 世話人 奥平桂一郎 電話(072)690-1210 E-mail: maku22@pharm.kyoto-u.ac.jp <https://sites.google.com/view/bussei42>

## 第 421 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

—持続可能社会に向けた LC 分析技術—

**主催** 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

**後援** 日本化学会

**会期** 7月16日(木)

**開催方式** 対面式

**会場** 株式会社島津製作所東京支社イベントホール(千代田区神田錦町1-3) [交通] JR「神田」駅西口徒歩10分

**参加申込締切** 7月8日(水)

近年、カーボンニュートラルや資源循環の推進、PFAS 規制をはじめとする環境規制強化を背景に、持続可能な社会の実現に向けた材料評価および環境分析の需要が高まっています。特に、リサイクル材料の品質管理や環境中微量汚染物質の分析においては、分離・検出技術の役割が重要となっています。本例会では、高分子材料や環境関連物質を対象に、LC を中心としたアプリケーションを紹介し、

1. 講演主題概説 (オーガナイザー) (日本電子) 山本敏人
2. PFAS 分析における最近のトピックス ～告

示法改正への対応など (栗田工業) 榎本幹司  
3. PFAS 分析における高分解能質量分析の優位性 (日本食品検査) 橋田 規  
4. 疑似二次元 LC による生分解性ポリマー分析 —三元系移動相を用いた分離アプローチ (三菱ケミカル) 芹澤昌史

5. SEC と高分解能 MALDI-TOFMS を組み合わせた効率的な合成高分子キャラクタリゼーション (日本電子) 佐藤真弥

6. 有機材料分野における質量分析イメージングと高分解能 LC/MS/MS の活用事例 (浜松医科大/プレッパーズ/エムエス・ソリューションズ) 高橋 豊

7. サステナブルな分析へのアプローチと事例 (島津製作所) 寺田英敏

8. 総括: 持続可能社会に向けた LC 分析技術 (東理大) 中村 洋

**参加費** 学生 1,000 円, 後援学会・個人会員 4,000 円, 後援学会・団体会員 4,500 円, その他 5,000 円

**懇親会** 講演終了後。会費 5,000 円

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ** (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 E-mail: toyamama@jeol.co.jp <https://www.lckon.org/lckon/reikai/lckon0421.html>

## 第 45 回無機高分子シンポジウム

—配位・架橋・ネットワーク:  
境界を超える無機高分子—

**主催** 高分子学会無機高分子研究会

**協賛** 日本化学会

**会期** 7月17日(金)10時~17時

**開催方式** 対面式

**会場** 東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館第1フォーラム(新宿区神楽坂1-3) [交通] JR 総武線, 東京メトロ有楽町線・東西線・南北線, 都営大江戸線「飯田橋」駅下車徒歩5分

**参加申込締切** 7月13日(月)

1. 開会挨拶 (物質・材料研究機構) 瀬川浩代  
2. 低次元無機半導体構造を持つ配位高分子の開発 (関西学院大) 田中大輔

3. テトラジックリックケミストリーを活用した亜鉛配位架橋ゴムの特性と架橋ゴム接着への応用 (ブリヂストン) 小谷享平

4. 有機ナノ粒子のワールド~斬新な発想に基づく新規ナノ薬剤の開発まで (東北大) 笠井 均

5. 11 族金属チオレートが形成する配位高分子の機能開拓 (名工大) 江口 裕

6. 有機ナノケージ分子をプラットフォームとした無機化学 (筑波大) 二瓶雅之

7. 共有結合性有機構造体を活用した燃料電池向けプロトン伝導膜の研究開発 (デンソー) 佐藤 敬

**参加費** 企業 (高分子学会・日本化学会員) 14,300 円, 大学・官公庁 (高分子学会・日本化学会員) 5,500 円, 学生 (高分子学会・日本化学会員) 2,200 円

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ** 104-0042 中央区入船3-10-9 新富ビル6階 公益社団法人高分子学会 石津光暉 電話(03)5540-3770 FAX(03)5540-3737 E-mail: resg2@spsj.or.jp <https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=822>

## 化学への招待 1 日体験化学教室

—東邦大学夏休み理科教室—

**主催** 東邦大学理学部

**共催** 日本化学会関東支部

**会期** 7月24日(金)~27日(月)

**開催方式** 対面式

**会場** 東邦大学理学部化学科実験室(船橋市三山2-2-1) [交通] JR 総武線「津田沼」駅下車北口より京成バス(4番乗り場)にて約10分「東邦大学前」で下車, または京成本線「京成大久保」駅下車徒歩約10分

**参加申込締切** 7月10日(金)

高校生を対象にした2種類の実験コースがあります。実験は各日9時30分~16時30分で完了し, 同じ内容を7月24日(金), 25日(土), 27日(月)の3日間繰り返します。Aコースは「セラミックスの合成から体験する超伝導と低温の世界」(各日定員15名): 超伝導セラミックスの合成を行い, 液体窒素(マイナス196度)で冷やしてその性質を調べます。また, それ以外にもいろいろな物質を冷却して極低温での振る舞いを観察します。Bコースは「分光による金属イオンの分析~光を分けて物を調べる」(各日定員20名): 炎色反応の光を分けると金属イオンに特有のスペクトルが得られることを知り, また, その性質を利用することで複数の金属イオン含む場合においても, どのイオンが含まれているかを調べることができることを学びます。

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ** 274-8510 船橋市三山2-2-1 東邦大学入試広報課「夏休み理科教室」係 電話(047)472-0666 [https://www.toho-u.ac.jp/sci/event/sci\\_class2026.html](https://www.toho-u.ac.jp/sci/event/sci_class2026.html)

## 化学への招待 (東北支部第358回) 弘前大学1日体験化学教室

**主催** 日本化学会東北支部 弘前大学大学院理工学研究科

**会期** 7月25日(土)12時15分~16時30分

**開催方式** 対面式

**会場** 弘前大学理工学部・教育学部・農学生命科学部(弘前市文京町3および同市文京町1) [交通] JR「弘前」駅前3番バス乗り場で弘前バス「小栗山」または「学園町」行に乗りして「弘前大学前」下車/当日は「八戸」駅から弘前大学まで貸し切りバスを運行する予定です。詳細はお問い合わせ下さい。

**参加申込締切** 7月5日(日)ただし定員(80名)になり次第

12時20分~13時に講演, 13時20分~16時30分にA~Kに分かれて化学実験を体験。

**講演** 化学がつくる, 私たちの暮らしと未来~ノーベル化学賞から考える~

**実験**

A) 色で測る!! ードリンク剤中の鉄の定量

B) 見えない世界が見える? X線でキラキラ結晶をのぞこう

C) 果物のおいを作る・ルミノールを用い

た発光反応

- D) 葉緑素の正体を暴け！一水素結合の違いによって成分を分離  
 E) DNA抽出実験+VRで見る！一光るタンパク質の正体  
 F) まるで生き物!? 温度を感じるふしぎなプラスチックをつくろ  
 G) 色の変化を追跡せよ！一錯体における置換反応速度の解析  
 H) コンピュータの中で分子をつくる  
 I) 色が変わる無機高分子・色素増感太陽電池  
 J) 医療分野で活躍する磁性ナノ粒子をつくる  
 K) 電気を通すプラスチックをつくってみよう

対象 中学生・高校生（一般も可）

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 036-8561 弘前市文京町3  
 弘前大学大学院理工学研究科 鷲坂将伸 電話(0172)39-3579 E-mail: sagisaka@hirosaki-u.ac.jp http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/

## 群馬大学物質・環境類 1日体験理科教室 (1日体験化学教室)

主催 群馬大学理工学部物質・環境類

共催 日本化学会関東支部

会期 7月25日(土)13時~16時30分

開催方式 対面式

会場 群馬大学理工学部桐生キャンパス(桐生市天神町1-5-1) [交通] JR 両毛線「桐生」駅よりバスで約7分または東部桐生線「新桐生」駅よりバスで約20分

参加申込締切 6月29日(月)ただし定員(64名)になり次第

8テーマから1テーマを選択し、各研究室において参加者自身が実験を行います。テーマの詳細については下記HPを参考にして下さい。

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 376-8515 桐生市天神町1-5-1 群馬大学大学院理工学府 森口朋尚 電話(0277)30-1322 E-mail: moriguchi@gunma-u.ac.jp https://taikenrika26.events.gunma-u.ac.jp/index.html

## 山村庄亮教授追悼記念講演会

主催 山村庄亮教授追悼記念事業会

後援 日本化学会

会期 7月25日(土)13時~17時20分

開催方式 対面式

会場 慶應義塾大学理工学部マルチメディアルーム(14棟創想館地下2階)(横浜市港北区日吉3-14-1) [交通] 東急東横線ほか「日吉」駅下車徒歩15分

参加申込締切 7月15日(水)

山村庄亮先生が昨年8月10日にご逝去され、一周忌を迎えるにあたり、門下生および山村研究室関係者により追悼記念講演会を開催いたします。本講演会では、天然物化学および生物有機化学分野における先生の卓越したご業績を偲び、その学問的足跡を振り返ります。本講演会が今後の学術の発展に寄与する有意義な機会となることを願っております。

す。

講演

1. ピータイトの色 論文数がゼロなのに(慶大名誉) 小瀬村誠治
2. 山村先生から学んだこと(工業所有権協力センター) 須山和晴
3. 鍛えて頂いた濃密な3年間と38年分の元日(セツツ) 山口 修
4. 抗生除草剤ホスホノトリキシンの新展開~山村先生のご助言(芝浦工大) 中村和彦
5. 山村先生と眠る植物:1990年代の山村研(東北大院理) 上田 実
6. 昔話の効用(東北大院生命科学) 有本博一
7. 山村先生に学んだから今がある(電通大院情報理工) 牧 昌次郎
8. 山村先生のいざない、いまなお夢中の天然物合成(科学大学化学) 大森 建
9. 私(達)にとっての山村先生(神奈川大学生生命) 岡田正弘
10. 山村庄亮先生:数多の御恩に心から感謝(東工大名誉, 北里大名誉, 日本学士院会員) 鈴木啓介
11. 山村先生との20年(慶大名誉, 慶応工学会) 西山 繁

参加費 無料

懇親会 18~20時, 日吉ファカルティラウンジにて。会費:7,000円 [申込締切:6月25日(木)]

参加申込方法 Web

申込先 山村庄亮教授追悼記念事業会 https://forms.gle/h1jx68C2QR215Ahu6

問合せ 305-8572 つくば市天王台1-1-1 筑波大学生命環境系 繁森英幸 E-mail: shigemori.hideyuk.fn@u.tsukuba.ac.jp

## 化学系学生・スタッフ対象 甲種危険物取扱者試験対策セミナー

主催 日本化学会近畿支部

会期 7月30日(木)17時~8月4日(火)18時30分

開催方式 オンライン

参加申込締切 7月21日(火)

本セミナーは、甲種の受験資格を有する、化学系学部・大学院生、高専生、スタッフ、高校教員を対象としたセミナーです。化学物質の知識を深め、化学物質の安全管理、取り扱いについて理解することは、日々の化学実験を安全に行うためには非常に重要です。化学物質の多くは消防法で「危険物」と定められているものが多くあります。この講習会で危険物に関する法令や危険物の性質ならびにその火災予防、および消火の方法等について学び、甲種危険物取扱者試験を取得しませんか?

講師 赤染元浩(千葉大院工)

対象 化学系学部・大学院生、高専生、スタッフ、高校教員

※甲種危険物取扱者の受験資格、試験日、会場、試験手数料等詳細については、一般財団法人消防試験研究センターのHPに掲載されていますので確認下さい。

参加費 5,000円(税込) ※テキストの配布はありません。テキストとして「一発合格! 甲種危険物取扱者試験テキスト&問題集」ナツメ社2,640円 (ISBNコード:978-4-8163-

5331-4)を使用します。開催日までに必ず購入しておいて下さい(姉妹書の「一発合格! 甲種危険物取扱者試験(ここが出る)問題集」ではありませんのでご注意ください)。※申込締切日までにキャンセルのご連絡がない場合、参加費はお返しいたしません。

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 日本化学会近畿支部 電話(06)6441-5531 E-mail: csjevent@kinki.chemistry.or.jp https://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/lecture26.html

## (公社)日本分析化学会近畿支部、近畿分析技術研究懇話会 2026年度「ぶんせき講習会」(実践編)

—第71回機器による分析化学講習会

~電気化学の様々な測定法を用いて

測定対象物を定量する~

主催 日本分析化学会近畿支部 近畿分析技術研究懇話会

協賛 日本化学会近畿支部

会期 7月31日(金)10時30分~16時30分

開催方式 対面式

会場 大阪公立大学 I-site なんば(大阪市浪速区敷津東2-1-41) [交通] 南海本線「なんば」駅下車中央出口より南へ約800m 徒歩約12分。大阪メトロ御堂筋線・四つ橋線「大国町」駅下車1番出口より東へ約450m 徒歩約7分

参加申込締切 7月17日(金)ただし定員(30名)になり次第。7月24日(金)以降のキャンセルは不可。

1. 開会の挨拶(阪大) 坪井泰之
2. オリエンテーション(イーシーフロンティア) 藤田昌司
3. 講義1(京工織大) 吉田裕美
4. 講義2(イーシーフロンティア) 高木靖浩
5. 実習1~3(イーシーフロンティア) 藤田昌司/森本圭一
6. 質疑応答

参加費 主催・協賛団体所属会員6,500円、会員外一般12,500円、学生3,500円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 公益社団法人日本分析化学会近畿支部 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685 E-mail: mail@bunkin.org https://www.bunkin.org/2026/0731\_bunseki\_kousyu3.html

## 少年少女のための見学会 2026

—プラスチックはどう生まれ変わる?

未来をつくるリサイクル工場を見に行こう—

主催 日本化学会関東支部

会期 8月3日(月)9時30分~12時15分

開催方式 対面式

会場 レゾナック川崎事業所(扇町)(川崎市川崎区扇町5-1) [交通] JR「川崎」駅周辺

※当日は貸切バスにて移動  
 参加申込締切 7月10日(金)ただし定員(40名)(保護者を含む)を超過した場合は抽選 レゾナック川崎事業所(扇町)では、家庭

から分別回収したプラスチックを、化学の力で新たな製品へと生まれ変わらせる最先端のリサイクルを行っています。この見学会では、プラスチック循環の仕組みを、わかりやすく紹介します。環境問題を身近なテーマとして捉え、環境を大切にしたい気持ちや「なぜだろう？」という好奇心を育てます。

**対象** 小学5~6年生・中学生

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 日本化学会関東支部  
E-mail: kanto@chemistry.or.jp <https://kanto.csj.jp/>

## 横浜国立大学 一日体験化学・生命教室

**主催** 横浜国立大学理工学部 化学・生命系学科

**共催** 日本化学会関東支部

**会期** 8月3日(月)10時~17時

**開催方式** 対面式

**会場** 横浜国立大学理工学部化学・生命系学科講義室および研究室(横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5) [交通] 「横浜」駅西口バスターミナル9番乗り場から相鉄バス「浜11系統釜台住宅第三」行または「浜11系統釜台經由上星川駅」行乗車、「ひじりが丘」下車、徒歩約5分(北門経由)

**参加申込締切** 7月15日(水)ただし定員(30名)になり次第

高校生および高校教員を対象に、横浜国立大学の理工学部化学・生命系学科の一端を体験していただけます。参加者複数名でグループを作り、実際に実験を行っていただきます。詳細は下記学科のHPをご覧ください。日ごろ疑問に思っていることなど何でも質問して下さい。

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学理工学部化学・生命系学科「一日体験化学・生命教室」係(担当) 多々良涼一 電話/FAX(045)339-3939 E-mail: tatara-ryoichi-nx@ynu.ac.jp <http://www.chem-bio.ynu.ac.jp/taiken/taiken.html>

## 第37回配位化合物の 光化学討論会

**主催** 複合系の光機能研究会

**共催** 日本化学会

**会期** 8月4日(火)~6日(木)

**開催方式** 対面式

**会場** 龍谷大学深草キャンパス(京都市伏見区) [交通] 京阪本線「龍谷大前深草」駅徒歩3分、地下鉄烏丸線「くいな橋」駅徒歩7分

**参加申込締切** 6月12日(金)発表申込および事前登録

**発表申込締切** 6月12日(金)

**要旨原稿提出締切** 6月26日(金)

**討論主題** 広い意味での配位化合物の光化学・光物理(光反応、発光、励起状態、光誘起物性等を含む)に関する基礎および応用研究

**発表形式** 口頭発表A(発表20分(学士課程の学生が容易に理解できる5分程度の序論を含む)+討論5分)、口頭発表B(発表13分+討論5分)、ポスター発表

**参加費** 一般6,000円、学生3,500円(事前登録)

**懇親会** 8月5日(水)、龍谷大学深草キャンパス22号館地下食堂にて。

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学先端理工学部 第37回配位化合物の光化学討論会事務局 電話(077)543-7467 FAX(077)543-7483 E-mail: haii37@fukugo-hikari.org <https://haii.fukugo-hikari.org/2026/>

## 第19回環境教育シンポジウム プラスチックリサイクルの現在地

—研究的視点と産業的取り組みからみた

現状と課題—

**主催** 日本化学会環境・安全推進委員会環境小委員会

**会期** 8月7日(金)13時~16時30分

**開催方式** オンライン・対面併催

**会場** 化学会館+Zoom ウェビナーによるリアルタイム配信(千代田区神田駿河台1-5) [交通] JR「御茶ノ水」駅より徒歩5分

**参加申込締切** 8月6日(木)12時

私たちの暮らしを支える不可欠な素材であるプラスチック。その持続的な利用に向けては、リサイクルの推進が重要な課題となっています。我が国においても、2022年の「プラスチック資源循環法」の施行以降、プラスチックごみの削減と資源循環の取り組みが一層進められてきました。一方で、プラスチック資源循環のさらなる促進には、引き続き化学研究の推進や技術開発が必要です。また、マイクロプラスチックなど海洋ごみ問題への対応、炭素循環社会の構築、サーキュラーエコノミー(循環経済)への転換なども求められています。本シンポジウムでは、研究および産業の第一線で活躍する講師を迎え、化学の視点からプラスチックリサイクルをめぐる状況の「現在地」を俯瞰するとともに、課題解決に向けた実践的な知見を共有します。プラスチック資源循環の持続的なあり方について考える機会となれば幸いです。(敬称略)

1. プラスチックリサイクルの環境側面を考える —実態把握と今後の課題(国立環境研) 鈴木 剛

2. 廃プラスチック向けケミカルリサイクルの社会実装と国際ルールメイキング(日揮ホールディングス) 田中悠太

3. パネルディスカッション

4. 高校生による環境化学に関する研究発表 ※閉会挨拶後に交流会あり(現地会場のみ)

**参加費** 無料。希望者には別途資料を有料配布(税込1,000円)。

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 101-8307 千代田区神田駿河台1-5 日本化学会企画部 環境教育シンポジウム担当 E-mail: env\_safe@chemistry.or.jp <https://www.chemistry.or.jp/event/calendar/2026/08/eesympo19.html>

## 第1回NMR実用技術交流会

**主催** NMR実用技術交流会

**後援** 日本化学会

**会期** 8月7日(金)13時30分~16時30分

**開催方式** オンライン・対面併催

**会場** 横浜市開港記念会館(横浜市中区本町1-6) [交通] みなとみらい線「日本大通り」駅徒歩1分

**参加申込締切** 対面参加は定員(60名)になり次第

NMRは、物質の構造から動態までを分子レベルで解き明かす極めて強力な分析手法であり、基礎科学のみならず、医薬、材料、食品、環境・エネルギーなど、現代の産業発展を支える基盤技術として独自の地位を占めています。しかしながら、NMRは高度な専門性を要する技術であり、現場の研究者・技術者は多くの課題に直面しています。そこで、産業界を中心に、NMR実務に携わる研究者・技術者等、多様な関係者が集い、実用技術の発表、意見交換、技術交流および人材育成を行う場として第1回NMR実用技術交流会を開催します。

**講演者** 木村一雄(東レリサーチセンター)、栗田順一(横浜市大)、児嶋長次郎(横国大)、梶尾尚哉(理研)、半沢宏之(木原財団)、蓬台俊宏(住友化学)、丸吉京介(第一三共)

**参加費** NMR実用技術交流会会員3,000円、日本化学会会員3,000円、非会員3,000円

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学化学棟306室 NMR実用技術交流会 児嶋長次郎 電話(045)339-4232 E-mail: practnmr@gmail.com <https://sites.google.com/view/practnmr/>

## KSDGs 夢化学 21 in Kagawa おもしろわくわくサイエンス展 '26

**主催** 夢・化学-21 in Kagawa 実行委員会

**共催** 日本化学会中国四国支部

**会期** 8月8日(土)13時~9日(日)15時

**開催方式** 対面式

**会場** 徳島文理大学高松駅キャンパス(高松市浜町8-53) [交通] JR「高松」駅徒歩1分

**参加申込締切** 申込みは不要です。直接会場にお越し下さい。

化学に関する演示実験や体験実験を通して、化学や化学技術の重要性、面白さや不思議さを伝える活動です。児童・生徒の素朴な疑問や好奇心を感動につなげる機会を提供するとともに保護者の皆様に化学や化学技術に興味を持ってもらいたいと思っています。詳細は下記HPをご覧ください。

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 760-8522 高松市幸町1-1 香川大学教育学部 夢・化学-21 in Kagawa 実行委員会 代表 高木由美子 電話/FAX(087)832-1461 E-mail: takagi.yumiko@kagawa-u.ac.jp <http://www.iceds.net/j/wakuwaku2026.html>

## JST ERATO 野崎樹脂分解触媒プロジェクト 最終公開シンポジウム

—樹脂分解触媒：最新動向と今後の展望—

**主催** JST ERATO 野崎樹脂分解触媒プロジェクト

**協賛** 日本化学会

**会期** 8月17日(月)10時~18日(火)11時30分

**開催方式** 対面式

**会場** 東京大学弥生講堂一条ホール〔アクセス〕<https://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.pdf> (文京区弥生 1-1-1) [交通] 地下鉄最寄駅：南北線「東大前」駅、千代田線「根津」駅、丸の内線、大江戸線「本郷三丁目」駅

**参加申込締切** 8月10日(月)ただし定員になり次第

**第1日** 一般、和訳字幕あり

**講演者** (敬称略, 50音順)

金 雄傑/Xiongjie Jin (東大)

鈴木美和/Miwa Suzuki (群馬大)

高橋講平/RIKEN (理研)

中川慎太郎/Shintaro Nakagawa (北大)

野崎京子/Kyoko Nozaki (東大/理研)

エゴン・ヒューソン/Egon Heuson (リール大)

エミール・ヘンセン/Emiel Hensen (アイントホーフェン工科大)

セバスチャン・ポール/Sébastien Paul (セントラル・リール大)

南 安規/AIST (産総研)

山崎友紀/Yuki Yamasaki (法政大)

**第2日** 一般 (高校生を含む), 同時通訳あり

**基調講演** Is Plastic Harming the Environment, or Saving It? (カリフォルニア大サンタバーバラ校) スザンナ・スコット/Susannah Scott

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ** 113-8656 文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻 野崎研究室 荒木英一 電話(080)3572-2646 E-mail: araki-eiichi1379@g.ecc.u-tokyo.ac.jp <https://www.jst.go.jp/erato/nozaki/>

## 筑波大学 1 日体験化学教室

**主催** 筑波大学理工学群化学類

**共催** 日本化学会関東支部

**会期** 8月18日(火)9時15分~16時15分

**開催方式** 対面式

**会場** 筑波大学第一エリア (つくば市天王台 1-1-1) [交通] つくばエクスプレス「つくば」駅下車つくばセンターから関東鉄道バス「筑波大学循環(右回り)」に乗り換え、「第一エリア前」下車バス停から徒歩約3分

**参加申込締切** 7月13日(月)ただし定員(91名)を超えた場合は抽選

**実験**

- ・色が変わる金属錯体 —サーモクロミズムとソルバトクロミズム
- ・分子の結晶を作ってみよう —分子の構造と色の不思議

- ・冷たい分子から光を取り出す —蛍の光の秘密

- ・カラフルな重い元素の世界~青いケトンをつくろう

- ・[分子をつなぐ魔法]~クロスカップリング反応を体験しよう

- ・分子をふるいで分けてみよう

- ・DNA を切る

- ・身の回りの放射性同位体

- ・森の香り成分からエアロゾルを作ってみよう!

- ・コンピュータで見る化学の世界

- ・紅茶の中からカフェインの結晶を取り出そう

- ・野菜のパワーを実感しよう —ガンの原因、活性酸素から身を守る

- ・化学ポロフェンの合成と機能観察

の実験項目から1つを選択して行います。

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ** 305-8571 つくば市天王台 1-1-1 筑波大学数理物質工学系支援室学群教務担当「筑波大学 1 日体験化学教室」係 電話(029)853-4003 FAX(029)853-6305 E-mail: suuri-madoguchi@un.tsukuba.ac.jp <https://chemistry.tsukuba.ac.jp/ug/admissions/#school>

## 東京大学 1 日体験化学教室

—最先端の化学に触れてみよう—

**主催** 東京大学工学部化学・生命系3学科

**共催** 日本化学会関東支部

**会期** 8月18日(火)10時~17時

**開催方式** 対面式

**会場** 東京大学弥生講堂一条ホール/東京大学本郷キャンパス工学部3号館, 5号館, 9号館各研究室 (文京区弥生 1-1-1/文京区本郷 7-3-1) [交通] 南北線「東大前」駅、千代田線「根津」駅、丸の内線、大江戸線「本郷三丁目」駅

**参加申込締切** 8月10日(月)ただし定員になり次第

**対象** 高校生, 中学生

**午前の部** (弥生講堂一条ホール)

**講義**

1. 基調講演 (同時通訳あり)

Is Plastic Harming the Environment, or Saving It? (カリフォルニア大サンタバーバラ校) スザンナ・スコット/Susannah Scott

**午後の部** (工学部各研究室)

化学実験体験

**テーマ**

- ・固体と液体の性質をあわせもつ物質・高分子ゲルを体験しよう

- ・触媒の力で再生可能資源の有効活用へ

- ・早期がん診断を目指した MRI 造影剤の開発

- ・いろいろな細胞から RNA を精製してくらべてみよう

- ・体を守る分子の働きをスナップショットで捉えてみよう

- ・細胞を形作るタンパク質と神経細胞のネットワークを最先端イメージングで見えてみよう

- ・特異な性質を示すフッ素含有高分子を体験しよう

- ・光に応答する分子を合成・体験しよう

工学部各研究室にて実験

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ** 化学生命工学専攻 野崎研究室 荒木英一 電話(080)3572-2646 E-mail: araki-eiichi1379@g.ecc.u-tokyo.ac.jp <https://forms.gle/ew1NkNst3W6Ln6mS6>

## 東京都立大学 1 日体験化学教室

**主催** 東京都立大学都市環境学部環境応用化学科・理学部化学科

**共催** 日本化学会関東支部

**会期** 8月18日(火)

**開催方式** 対面式

**会場** 東京都立大学南大沢キャンパス 12号館 201 室 (八王子市南大沢 1-1) [交通] 京王相模原線「南大沢」駅下車徒歩 12 分

**参加申込締切** 7月17日(金)ただし応募者多数(定員 50 名)の場合、抽選とさせていただきます。

下記 6 テーマのうち、いずれか 1 つの体験実験を行っていただきます。

- アルミニウムの電気分解で作る機能材料
- 化学反応の仕組みについて調べてみよう —振動反応と時計反応
- 入浴剤中の色素の分離
- マイクロ・ナノスケールの世界をのぞいてみよう
- 分子のカプセル：シクロデキストリン
- スライムから空気中 CO<sub>2</sub> 回収まで：高分子の不思議

詳細については下記 HP をご覧ください。

**対象** 高校生

**参加費** 無料

**参加申込方法** E-mail 下記の情報をご記入の上、E-mail でお申し込み下さい。件名は「1 日体験化学教室参加申込(氏名)」として下さい。(1)氏名(ふりがな), (2)生年月日, (3)学校名, (4)学年, (5)郵便番号, (6)自宅住所, (7)電話番号, (8)E-mail アドレス, (9)希望する実験テーマの番号(A~F)を希望順に記入(必ず第 6 希望まで記入して下さい)

**申込先・問合せ** 192-0397 八王子市南大沢 1-1 東京都立大学 都市環境学部 環境応用化学科 稲垣佑亮 E-mail: chemistry2026tmu@gmail.com [https://www.ues.tmu.ac.jp/apchem/experience\\_class.html](https://www.ues.tmu.ac.jp/apchem/experience_class.html)

## 13th Workshop of Selenium and Sulfur Redox and Catalyst Network

**主催** WSeS-13 実行委員会

**後援** 日本化学会

**会期** 9月10日(木)9時~11日(金)17時

**開催方式** 対面式

**会場** Shimadzu Tokyo Innovation Plaza (川崎市川崎区殿町 3-25-40) [交通] 京急大師線「小島新田」駅より徒歩 12 分または京急空港線・東京モノレール「天空橋」駅よりバス/タクシー 10 分

**参加申込締切** 8月31日(月)

有機硫黄および有機セレン関連の研究者の国際ネットワーク (SeS-RedCat) では毎年、世界各国でワークショップを開催し、国際共同研究の推進や若手研究者の育成を行っています。今年は川崎でワークショップを開催し

ます。今年のテーマは「有機セレンおよび有機硫黄化合物の酸化還元反応と触媒作用・バイオロジーへの展開」です。第一線で活躍する国内外の研究者による招待講演に加えて、一般講演および若手研究者（ポスドク、学生など）による口頭・ポスター発表も募集します。発表をご希望の方は7月31日(金)までに下記HPからお申し込み下さい。

**参加費** 無料

**懇親会** 9月10日(木)18時～, Shimadzu Tokyo Innovation Plazaにて。会費3,000円

**参加申込方法** Web

**申込先** ワークショップ世話人代表 岩岡道夫 <https://bit.ly/wses-13>

**問合せ先** 259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学理学部化学科 岩岡道夫 電話(0463)63-4356 E-mail: miwaoka@tokai.ac.jp

## 第20回バイオ関連化学シンポジウム

**主催** 日本化学会生体機能関連化学部会

日本化学会バイオテクノロジー部会

**共催** 日本化学会

**会期** 9月10日(木)～12日(土)

**開催方式** 対面式

**会場** 東北大学青葉山東キャンパス [工学研究科中央棟大講義室ほか] (仙台市青葉区荒巻字青葉6-6) [交通] 仙台市地下鉄東西線「青葉山」駅

**参加申込締切** 発表申込期間・予稿原稿提出期間 5月25日(月)～6月12日(金) 事前参加登録申込期間 5月25日(月)～7月10日(金)

ペプチド・タンパク質・酵素・核酸・糖鎖・脂質・分子認識・超分子・生体モデル系・遺伝子・DDS・細胞等が関連する幅広いバイオ関連化学を対象とした演題を募集します。

・口頭発表(全日15分間発表・5分間質疑応答)

※口頭発表は原則として1研究室1件。ただし申込は2件までは可。

※優れた発表を対象とした部会講演賞を予定しています。

・ポスター発表

※優れた発表を対象とした学生ポスター賞表彰を予定しています。

※最新情報は下記HPをご参照下さい。

**参加費** (事前) 部会員：一般9,000円, 学生4,000円, 非部会員：一般11,000円, 学生5,000円, (当日) 部会員：一般11,000円, 学生6,000円, 非部会員：一般13,000円, 学生7,000円 ※共催先の学会員は、一般・学生ともに部会員価格で参加が可能です。

**懇親会** 9月11日(金) 会費8,000円

**参加申込方法** Web

**申込先** 第20回バイオ関連化学シンポジウムHP (<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/biosympo2026>) 内

**問合せ先** 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-11-605 東北大学大学院工学研究科バイオ工学専攻 珠玖研究室 第20回バイオ関連化学シンポジウム事務局 E-mail: bio2026@grp.tohoku.ac.jp